新春特別インタビュー

エンタメに必要な「小さな親切」の心

サザンオールスターズや福山雅治さん、Perfume（パフューム）、星野源さんなど多くの人気アーティストが所属する株式会社アミューズ。エンターテインメントを届けてきた同社が昨年7月、「みらいエデュテインメント財団」を立ち上げ、個性を認め合う社会づくりに取り組んでいくとお聞きし、財団設立の目的、エンターテインメントに対する想いなどを代表取締役社長の中西正樹さんにお聞きしました。

次世代に残したい個性を認め合う社会

アミューズはこれまで、アーティストと共に様々な活動を行ってきました。SDGsに対する社会的な関心が昨今ますます高まっておりますが、20年以上に亘る「Act Against AIDS（アクト アゲインスト エイズ）※」や、阪神淡路大震災・東日本大震災の際にはチャリティやボランティアを行うなど、アーティストや社員がそれぞれ高い意識を持って活動をしてきたことを誇らしく思っています。現在も、ヤング・ダボス会議と呼ばれる「One Young World Summit」に毎年社員やアーティストを派遣したり、アーティストの活動収益を「セーブ・ザ・チルドレン」でお役立ていただいたりと様々な活動をしています。

昨年、サザンオールスターズが茅ヶ崎球場で3度目のライブを行ったのですが、今回もファンの皆様とともにビーチクリーンを実施したりと、常にライブに纏わる環境を綺麗にしようという意識が関わる全ての人にあるんです。ほかのアーティストの野外ライブなどでも、来場いただいたお客様ご自身が分別や持ち帰りを呼びかけてくださり、アーティストの想いを、ファンの皆様が共有し行動してくださっていることを本当に嬉しく思います。

そんな中、創業45周年を迎えたことを機に、社会やファンの皆様へのこれまでの恩返しも含めて「次世代に何を残せるか」を考えるようになったのが、財団設立のきっかけです。

エンターテインメントは多様性の象徴的存在であり、私たちだからこそできることは「感動体験」を通じたきっかけづくりです。一人ひとりの個性は人との違いから生まれます。個性を認め合うことができずにぶつかりあったり、衝突を恐れてせっかくの個性を殺してしまうのではなく、一人ひとりが違うことを面白がることができる社会づくりのための活動を、エンターテインメントを織り交ぜながらできたらいいなと思っています。

具体的な活動がいよいよ今年から始まりますが、面白いアイデアがたくさん出てきておりますので、みらいエデュテインメント財団の活動に是非ご注目いただけましたら幸いです。

※「Act Against AIDS」：エイズに対する無知や誤解による偏見や差別をなくすため、正しい知識を広めることを目的とした啓発活動。現在は「Act Against Anything」に名称を変え、あらゆる困難に立ち向かう子供たちへの支援活動を行っている。

エンターテインメントは時代を写す鏡

我々はライブや舞台を創るにあたって、お客様と感動を共有できたときに大きな充実感を感じます。お客様に笑顔で喜んでいただく、そんな幸せを願う気持ちが、アーティストをさらに応援しようというお客様からの気持ちへと循環していく。この「思いやり」の伝播は、私たちの仕事にとってとても大事なことです。

引っ込み思案だった子が、ラブソングを聴いて一歩を踏み出す勇気が出るかもしれないように、音楽やエンターテインメントは「背中を押してくれる力」があり、「時代を映す鏡」でもあります。エンターテインメントに時代の空気感を練り込むことで、何かを変えることができる可能性が十分にあると思うのです。

昨年、サザンオールスターズが神宮外苑の再開発について歌った『Relay～杜の詩（もりのうた）』をリリースしました。これは再開発がいいとか悪いとかでなく、知らない間に決まっていくのではなく、もっとみんなで深く理解し考えようというメッセージソングで、とても大きな反響がありました。

また、桑田佳祐さんと松任谷由実さんは、「今必要なのは傷つけあうことではなく、互いに歩み寄り、穏やかに対話すること。仲良くしようよ!!」というメッセージを込めて、『Kissin' Christmas（クリスマスだからじゃない）2023』をリリースしました。

決して恩着せがましくなく、相手に寄り添い、みんなが考えるきっかけをつくっていく。そんなエンターテインメントが、今の時代だからこそ必要なのではないでしょうか。

これは創業者の大里洋吉（現：代表取締役会長）の教えでもあるのですが、「アーティストの影響力を魅力的に広げながら、エンターテインメントで様々な問題解決の糸口を作れるのではないか、良い社会づくりの機運を高めていくのだ」という理念は、創業からずっと、強くみんなが持ち続けています。

人気アーティスト育成の秘訣

アーティストとして成功するには、戦略はもちろんありますが、「情熱と感謝の気持ち」が最も大切なのではないでしょうか。たとえ周りから反対されたとしても、才能を信じた人間が情熱と愛情を持って取り組んだ結果、現在の大活躍につながっているという事例はたくさんあります。そういった熱いパッションがあるからこそ、協力してくれた方々に感謝が生まれ、人気の輪が広がっていくのです。熱い気持ちとありがとうの感謝は必ず周りの人にも伝播しますから。

＊＊＊

「小さな親切」は、私たちの心の中にいつもある思いやりです。日々の生活の中でも、声をかけるなど、ちょっとしたことで人の心は変わります。社員にも「明るく元気に笑顔で」とよく言っています。あいさつはコミュニケーションのきっかけですし、やはり明るい笑顔の人に、人は集まってきます。自分もそういう人でありたいと思っています。

みらいエデュテインメント財団とは

エデュテインメントとは、エデュケーションとエンターテインメントを掛け合わせた造語。「みんな違うのが、おもしろい」をコンセプトに、個性を認め合う社会づくりを目指し設立。2021年に移転した、山梨県・西湖にある本社「アミューズヴィレッジ」を基点に活動を推進する。

[主な活動内容]

- 異文化交流
- アート
- 食農教育
- パフォーミングアーツ

HP● https://mirai-edutainment.jp/

中西正樹
［㈱アミューズ代表取締役社長］

1973年11月9日生。1998年の入社以来、音楽系アーティストマネージメントを長年にわたって担当し、アミューズの音楽事業における幅広い基盤をつくる。サザンオールスターズの楽曲配信やライセンスを管理するタイシタレーベルミュージック（株）代表取締役を兼務し、2019年6月より（株）アミューズ代表取締役社長執行役員、2023年より同社代表取締役社長に就任。